

# 小平市 学校更新ニュース

令和5年7月 No. 13小-1

## (仮称) 小平第十三小学校等複合施設の整備に関する オープンハウスを開催します

十三小は、建て替えることが決まりました。

新しい十三小に関する基本計画を、令和6年3月頃に策定します。

学校の建て替えでは、教育活動の充実、教育環境の向上を図るとともに、小学校へ地域学習・コミュニティ機能を複合化することにより、“小学校を地域の核”とした地域コミュニティの醸成を図っていくことを目指し、取組を進めています。



小平第十三小学校

令和5年7月28日(土)、30日(日)

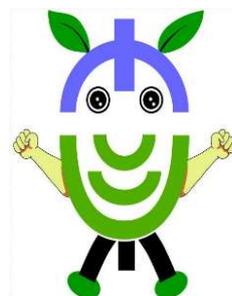
午前10時～午後5時 ※事前申込は不要です。

場所: 小川西町地域センター 第1・第2集会室



ご都合のよい時間に  
お気軽にご来場ください!

- ◆オープンハウスでは、整備方針や施設の概要、学校や地域センターの利用者から寄せられご意見、複合施設に関する全国の事例などを、パネル展示で紹介します。



13小マスコット トミー

【お問合せ】 187-8701 小平市小川町2-1333 小平市役所

教育部 教育総務課 施設更新担当 TEL:042-312-1379 FAX:042-346-9578 メール:new-school@city.kodaira.lg.jp

企画政策部 公共施設マネジメント課 TEL:042-346-9557 FAX:042-346-9513 メール:facility-mg@city.kodaira.lg.jp

# 小平市 学校更新ニュース

令和5年7月 No. 13小-2

## (仮称) 小平第十三小学校等複合施設の整備に関する オープンハウス 当日のご案内

◆オープンハウスでは、以下の内容のパネルを展示します。

1. 事業概要（キッズ版もあります）
2. 現在の小平第十三小学校の概要
3. 建て替えに関する児童・教職員アンケート結果
4. 公共施設利用者・利用団体ヒアリング結果
5. 学校施設複合化事例
6. 公共施設マネジメントについて

当日、アンケートをお配りします。

ご協力おねがいします。



展示のイメージ



## パネルの説明を行います！

7月28日(金)：10:30、15:00

7月30日(日)：10:30、11:30、14:00、15:00、16:00

各回10分程度 時間に合わせて、会場にお越しください。

● パネルの内容は、市のホームページでもご覧いただけます。

市のホームページから「学校更新ニュース 13小-2」  
で検索いただくか、右の二次元コードからご覧ください。

● ご質問がある方は、当日担当者にお声がけいただくか、  
メール等で教育総務課施設更新担当へご連絡ください。

● 会場へのお車でのお来場はお控えください。



二次元コード

令和5年7月28日(金)、30日(日)  
午前10時～午後5時 ※事前申込は不要です。  
場所：小川西町地域センター 第1・第2集会室  
(小平市小川西町5-4-17)



13小マスコット  
トミー

【お問合せ】 ☎187-8701 小平市小川町2-1333 小平市役所

教育部 教育総務課 施設更新担当 TEL:042-312-1379 FAX:042-346-9578 メール:new-school@city.kodaira.lg.jp

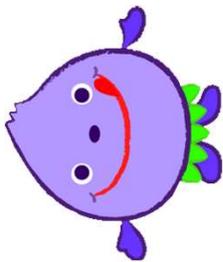
企画政策部 公共施設マネジメント課 TEL:042-346-9557 FAX:042-346-9513 メール:facility-mg@city.kodaira.lg.jp

# (仮称) 小平第十三小学校等複合施設整備事業 概要

## 1 事業の目的

小平第十三小学校については、建物の劣化診断結果や児童数の推移、他の小学校との将来的な統合の可能性が低いことから、更新をすることとしました。

新しい、(仮称) 小平第十三小学校等複合施設は、小平第十三小学校、(仮称) 十三小地区交流センター※、学童クラブの機能を持つ複合施設で、教育活動の充実や教育環境の向上を図るとともに、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ることを目的としています。



なお、複合施設の整備に伴い、小川西町地域センターと小川西町中宿地域センターの機能は廃止を予定しています。

※ (仮称) 地区交流センターは、地域学習・コミュニティ機能を持つ施設です。

## 2 整備コンセプト

子どもたちが快適に学び、また多世代がつながり高め合う

地域の拠点となる学校づくりをめざして

## 3 複合化による相互利用のイメージ

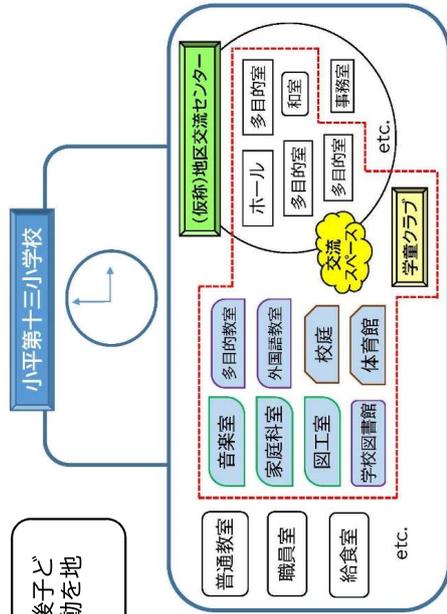
学校の教育活動や地域活動等の充実、児童と地域住民の交流を促進、公共施設の有効活用を図ることを目的に施設の相互利用を検討します。

教育活動に支障のない範囲で、多目的室、特別教室の一部、体育館、グラウンドの地域開放を検討します。

地域力を還元する場として、放課後子ども教室等と連携して、小学校の活動を地域で支えます。

(仮称) 十三小地区交流センターは、サークル活動等、一般利用者に配慮した運営を検討します。

児童や地域住民が気軽に立ち寄り、交流できるスペースを設置します。



※ 学校施設のうち、色塗の施設は地域開放を想定しています。  
 ※ 破線内の施設を相互利用するイメージです。学童クラブは、運営形態が直営の施設は地域開放を検討します。  
 ※ 図はイメージです。実際の施設内容、部屋数、面積は基本計画、設計の段階で確定します。

## 4 施設概要

### 小学校

#### ● 整備方針

- ① 多様な学習活動に柔軟に対応できる学習環境の整備
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指し、多様な学習形態に対応できる柔軟な施設とします。
- ・ 児童の情報活用能力を育成するためのICT環境の充実を図ります。
- ・ 複合施設の機能を有効活用し教育の幅を広げます。

#### ② 安全・安心で快適な学校空間の整備

- ・ 児童の安全に配慮した防災・防犯・事故防止策を取り入れます。
- ・ 特別な支援の必要な児童など一人ひとりを大切にしたい教育環境の充実を図ります。

#### ③ 地域を愛し、地域に愛される開かれた学校づくり

- ・ コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」を推進します。
- ・ 放課後子ども教室、地域ボランティア、総合的な学習の時間などで地域の人々との連携を深め、互いに支え合える学校づくりを目指します。

#### ● 施設構成・規模

- ・ 想定される将来の児童数・学級数及び小学校設置基準等に基づき、必要諸室を整備します。
- ・ 新しい時代の学びを実現するため、多様な学習に柔軟に対応できる空間、配慮が必要な児童のための空間を整備します。

### 小平第十三小学校

#### 【教育目標】

- ◎ 自ら考え行動する子ども
- ◎ 仲良く助け合う子ども
- ◎ 明るく元気な子ども



出典：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（文部科学省）

## (仮称) 十三小地区交流センター

### ● 整備方針

- ① 新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点
  - ・ “小学校を地域の核”とした地域コミュニティの醸成を図っていくことを目指します。
  - ・ 学校教育と地域コミュニティ機能が重なり合うことで、さらなる教育環境の充実や放課後活動支援、多世代交流、防犯・防災、子どもの見守り、元気高齢者の活躍の場、様々な担い手が連携した活動など、新たな活動が生まれ、発展していくような地域コミュニティの拠点をづくりを行います。
  - ・ 地域の防災活動拠点としても、学校、地域、市等が協働し、地域における共助の力はぐむことができる地域コミュニティを目指します。

### ② 様々な人々が活動しやすい施設づくり

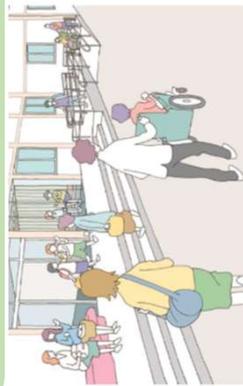
- ・ 地域の身近な活動の場として、また、災害時の防災拠点として、誰もが安心して利用しやすい施設づくりを行います。
- ・ エレベーターの設置やユニバーサルデザインを採用し、様々な人が支障なく利用できる施設とします。
- ・ 各機能が有機的に連携し、地域に住む様々な住民が、多様な担い手として円滑に活動できるためのプラットフォームを目指します。

### ③ 人々の「地域のために」という想いを大切に、地域貢献や地域還元に役立つ施設づくり

- ・ 地域住民がお互いに認めあい、支えあい、助けあえる地域コミュニティを育成し、地域愛や地域貢献意識を育む場をつくります
- ・ 市民が課題解決や自己実現のために主体的に学び、活動し、さらには、そこで得た成果を地域に還元したり、次の世代に伝えたりするなど、地域を共に創っていくことができる場を目指します。

### ● 施設構成・規模

- ・ 小平市公共施設マネジメント推進計画に基づき、用途地域等を踏まえ600㎡を上限とします。



出典：「新しい時代の学びを表現する学校施設の在り方について」（文部科学省）

## 学童クラブ

### ● 整備方針

子どもが安心して過ごし、様々な交流が図られる施設づくり

- ・ 子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援の考えから、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整えます。

### ● 施設構成・規模

- ・ 現状と同程度の登録児童数を想定し、児童1人につきおおむね1.65㎡以上を確保します。



## 5 配置・動線計画

- ・ 職員室などの管理諸室は、防犯・防災上の観点から、学校全体が見渡せ、外来者を確認できる配置を検討します。
- ・ 地域開放を想定する諸室は、児童の学習・生活に利用しやすい場所に配置するとともに、地域住民が利用しやすく、管理しやすい配置を検討します。
- ・ 小学校、（仮称）十三小地区交流センター、学童クラブは、児童の安全及び施設管理の観点から建物出入口を別々に確保し、それぞれの施設のゾーンを明確に区分けします。
- ・ 施設利用者の駐車場周辺に児童の動線が重ならないように駐車場を配置します。

## 6 工事期間中の対応

- ・ 工事期間中においても、「安全で安定的な教育環境の確保」を基本的な考えとしながら、仮設校舎の建設の有無等による財政面も踏まえ、事業スケジュールを検討します。
- ・ 工事期間中に運動場用地が不足する場合には、市立小川西グラウンド等の活用も検討します。

## 7 今後の予定

令和5年 8月	基本計画 骨子案策定
令和5年10月	ワークショップの開催
令和5年12月	基本計画（素案）の作成
令和5年12月～令和6年1月	市民意見公募手続きの実施、基本計画（素案）説明会の開催
令和6年 3月	基本計画策定
令和6年度～令和8年度	基本設計・実施設計
令和9年度～令和11年度	工事
令和12年度以降	供用開始（予定）

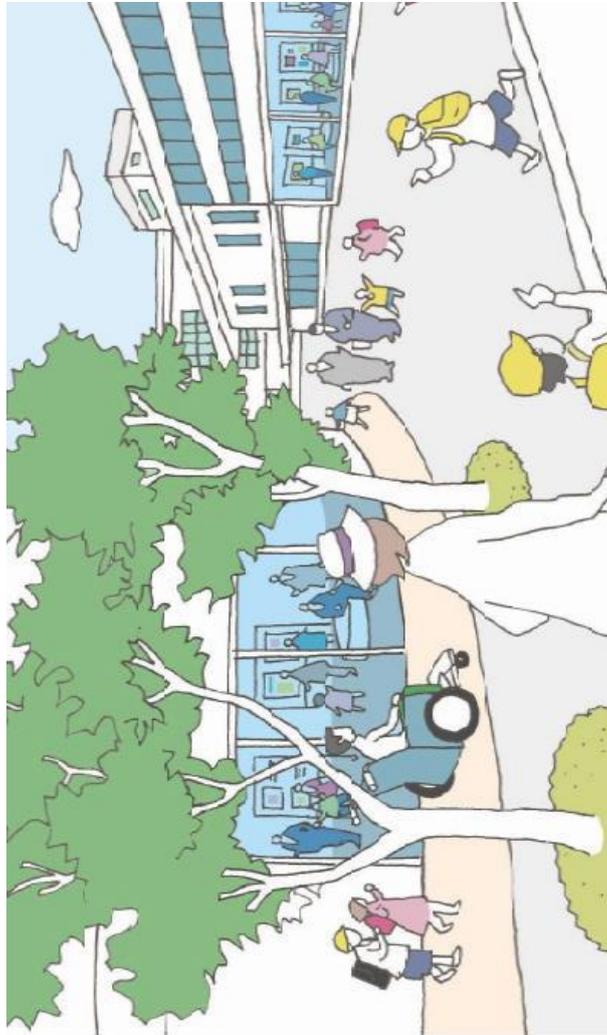
※現時点での想定であり、今後変更になる可能性があります。

# こだいらだいいじゆうさんしょうがっこう あたら 小平第十三小学校が新しくなります！

あたら こだいらだいいじゆうさんしょうがっこう  
新しい小平第十三小学校ってどんな学校になるの？

こ かいてき まな たせだい たか あ  
子どもたちが快適に学び、また多世代がつながり高め合う

ちいき きよてん がっこう  
地域の拠点となる学校をめざしています



しゅつてん あたら じだい ねん がっこうしせつ あ かに  
出典：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(文部科学省)

こだいらだいいじゆうさんしょうがっこう  
小平第十三小学校は、建てかえの準備中です。

あたら がっこう がくどう か  
新しい学校は、『学校』と『学童クラブ』と『(仮しよう)地区交流センター』

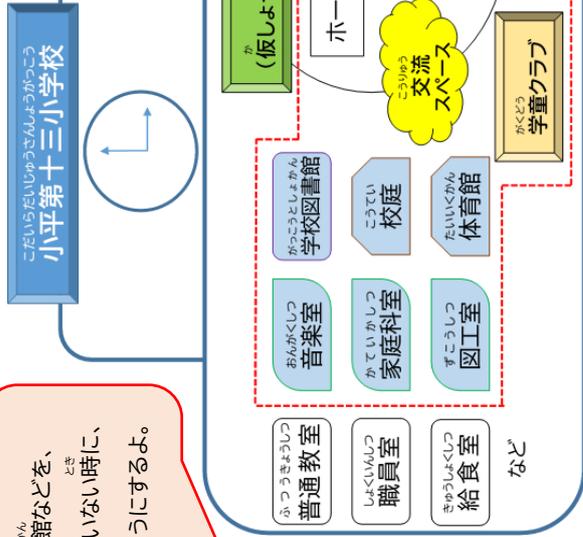
いっしょ がくごうしせつ  
の3つが一緒になった「複合施設」です。

か ちくごうりゆう  
(仮しよう)地区交流センターは、まだ新しい名前が決まっていないから、仮の名前だっってわかるように、(仮しよう) としているよ。

か ちくごうりゆう  
(仮しよう)地区交流センターってなに？

か ちくごうりゆう ちいき ひと いろいろ かつどう ぼしよ  
(仮しよう)地区交流センターは、地域の人たちが色々な活動をするための場所です。  
学校に通うみなさんも一緒に、地域みんな で つながり ができるように、学校と一緒に建てます。

おんがくしつ としよかん ちうてい たいいくかん  
音楽室や図書館、校庭や体育館などを、  
学校に通うみなさんが使っていない時に、  
ちいき ひと りゆう  
地域の人たちが利用できるようにするよ。



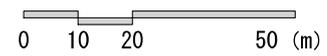
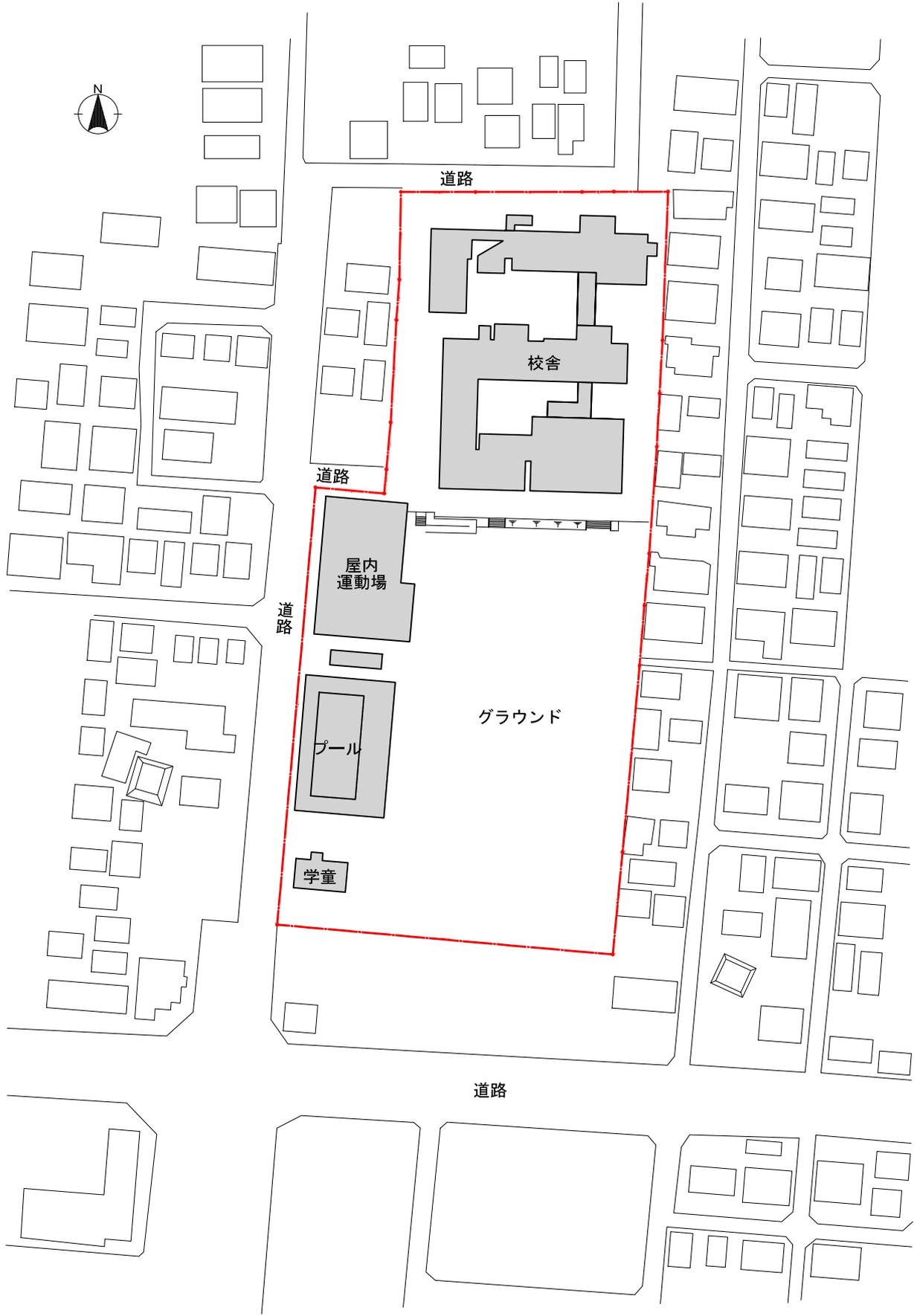
あたら かに  
新しくするために何をしているの？



れいわ ねんど ちうしや いち ちうてい しほふ ぬこ  
令和6年度からは、新しい学校の絵をかいていくんだ。  
まだ、しっかりと決まっていないけど、令和9年度から工事を始めて、  
令和12年度から新しい学校が使えと 考えているよ。



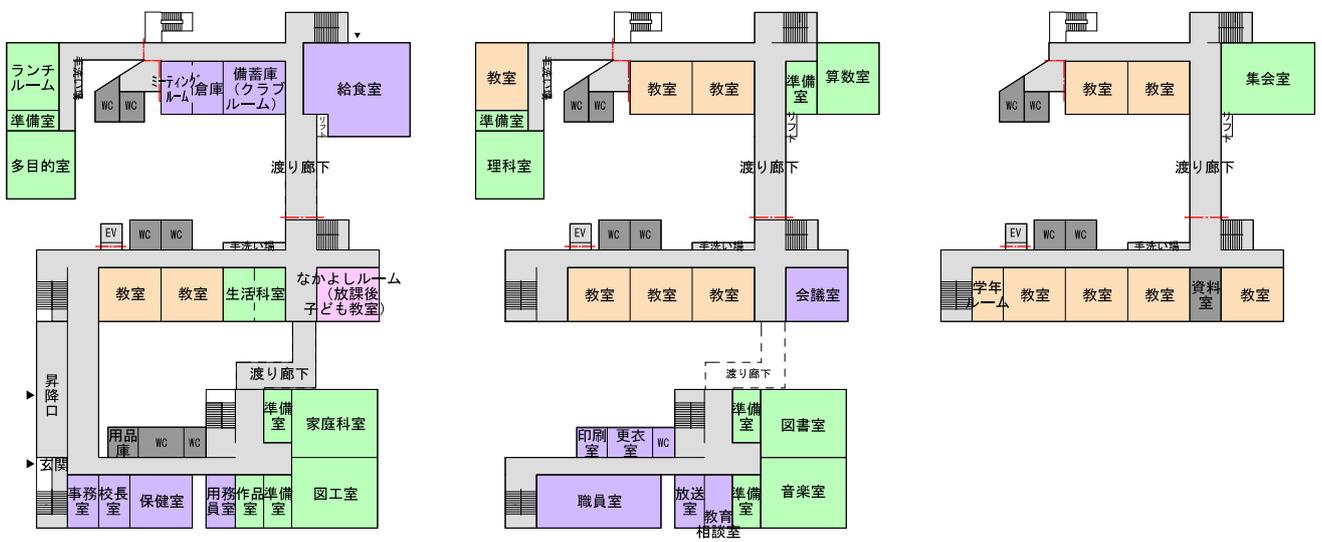
# 小平第十三小学校を案内します！



# 小平第十三小学校を案内します！

## 間取り図

### 小平第十三小学校



校舎1階平面図

校舎2階平面図

校舎3階平面図



屋内運動場  
1階平面図



【凡例】

- 教室
- 特別教室
- 管理諸室
- アリーナ諸室
- 学童関連
- その他
- 廊下・階段等

現況写真



普通教室



普通教室前 廊下



放送室



音楽室



図工室



図書室



家庭科室



集会室



ランチルーム



生活科室



算数教室



理科室

現況写真



職員室



校長室



用務員室



事務室前（受付）



事務室



保健室



放送室



アリーナ



男子トイレ

現況写真



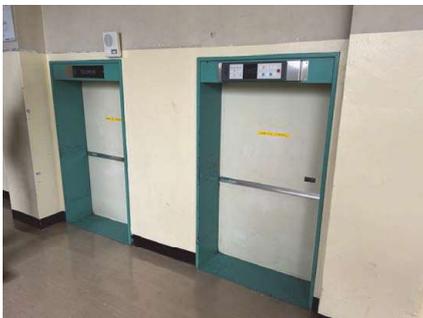
昇降口



職員用玄関



学童クラブ



給食リフト



グラウンド



グラウンドと校舎外観



プール



記念樹



グラウンド遊具

## 学校建て替えに関する児童アンケート（小平第十三小学校）

調査日：令和5年（2023年）5月26日～令和5年（2023年）6月2日

対象：5年生と6年生の児童

質問1 新しくつくられた学校でやってみたいことをおしえてください。  
どんなことでもOKです。

多かった回答

- ・動物を飼いたい（ウサギ、鳥など）、動物と触れ合いたい
- ・校庭に遊具が欲しい ・でっかい遊具で遊びたい
- ・校庭でサッカー、野球、プール、バスケットがしたい
- ・屋上に行きたい、屋上でお弁当を食べたい ・友達と遊ぶ、校庭でみんなとお弁当を食べる

質問2 十三小の良いところとして、今後も残したいものを教えてください。

多かった回答

- ・芝生、校庭の芝生、きれいな芝生
- ・タイサンボク ・ふたご山 ・魚 ・すいそう ・自然
- ・たくさんの遊具、バスケットゴール ・給食、給食がおいしい、学校で作る給食
- ・図書室 ・音楽室 ・ランチルーム ・保健室
- ・トミー(マスコット) ・校歌 ・十三小の校庭で(歌)
- ・先生、先生が優しい ・たてわり班 ・おもいやり ・あいさつ

質問3 「学校にこんなもの（こんなところ）があったらいいな」ということをおしえてください。

多かった回答

- ・屋上 ・プール、屋上でプール、室内プール、温水プール、50メートルプール
- ・広い図書室、本を静かに読める場所、青い鳥文庫室、恋愛本 ・自習室、休憩所
- ・第二体育館、体育館をもっと広くしたい
- ・バッティングセンター、野球ができるグラウンド、野球クラブ
- ・テニスコート、サッカーゴール、バスケットゴール
- ・ブランコ、シーソー、ターザンロープ、滑り台、アスレチック、トランポリン、ボルダリング  
一輪車、痛くない運動用マット、新しい遊具
- ・ひとりひとつのロッカー、教室内のロッカー、広いロッカー、衣類ロッカー
- ・エアコン、体育館にエアコン、各教室に扇風機 ・座ると暖かい便座、エスカレーター
- ・動物、動物と触れ合える場所、魚
- ・スクールバス
- ・文化祭(お祭り)

質問4 学校と地域が交流できるしせつにする計画があります。

地域の人と一緒にやってみたいこと、できたらいいなと思うことはありますか。

多かった回答

- 昔遊び
- 逃走中、鬼ごっこ、サッカー、運動会、ドッチボール、いろいろな遊び
- 卓球、カードゲーム、ボードゲーム、トランプ
- 地域の人と工作がしたい
- 地域の人に何かを発表する機会がほしい
- 音楽会
- 十三小フェスティバル
- 調理実習
- 小平市はどんなところなのか詳しく知りたい(自分たちが知らないことがあるかもしれないから)
- 畑仕事の手伝い
- 公園の掃除・ゴミ拾い・ボランティア
- 餅つき
- みんなと仲良くする
- 一緒にご飯を食べたい
- 地域の人も来れるお祭り
- 町探検

## 学校建て替えに関する教職員アンケート（小平第十三小学校）

調査日：令和4年（2022年）5月25日～令和4年（2022年）6月8日

質問1 今後教育活動を行うにあたって、どのような活動をする場（空間）が欲しいですか。そこを活用する活動など、その理由とともに教えてください。

- ・集会室、多目的ホールのような広い部屋
- ・学年が集まれるようなオープンスペース※1
- ・クールダウンスペース※2
- ・着替え等で使える部屋
- ・広いランチルーム
- ・配膳室
- ・子どもたちが色々な運動に親しめる場所

※1：教室に隣接、近接した多目的スペース。

※2：気持ちを落ち着かせてパニックを防ぐことを目的としたスペース。

外部の音や視線の遮断、掲示物をなくして見える情報を減らすなど様々な方法があります。

質問2 建て替えに合わせて、学童クラブのほか、（仮称）十三小地区交流センターを十三小に複合化する予定です。他の施設との複合化によるメリット、デメリットだということについて教えてください。

### 【メリット】

- ・地域、多世代との交流の機会の増
- ・学校が地域の目にふれる機会の増
- ・学童へのアクセス性の向上
- ・多様な住民サービスの提供
- ・地域の教育の拠点化

### 【デメリット】

- ・セキュリティ面での不安
- ・感染症予防

質問3 現状の学校施設・設備についてお聞きします。

それぞれ良いと思うところ・こうした方がよいと思うところについて教えてください。

### 【教室】

- ・収納スペースが足りない
- ・教室が狭い
- ・教室の造りが統一されていない
- ・音楽室の隣に図書館があるのはよくない

### 【廊下】

- ・狭い（広くしてほしい）
- ・暗い

### 【校庭】

- ・芝生を継続したい
- ・芝生管理のための電源や水道の適切な配置

### 【体育館】

- ・空調設備の設置
- ・風通しが悪い
- ・校舎との一体化
- ・大道具等が置けるスペース

# 小平市公共施設マネジメントニュース

令和5年1月号

## 「(仮称) 小平第十三小学校等複合施設の更新等に関する基本計画」 策定に向けた公共施設の利用者・利用団体ヒアリングを開催しました

小平第十三小学校は、1968年(昭和43年)に建築され、建物の老朽化が進んでいることなどから、建て替えることを決め、新しい小平第十三小学校に関する基本計画を令和5年度末までに策定する予定です。

小平第十三小学校の更新においては、(仮称)十三小地区交流センターを複合化し、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図っていくこととしています。

今回は、通学区域内の地域コミュニティ施設において活動している利用者の方を対象にヒアリングを開催し、延べ28名の参加をいただきました。

### ヒアリングの目的

新しい地域コミュニティ施設においても活動が継続できるように配慮するとともに、地域住民が主体的に活動を行い、多様なコミュニティが集まり連携していくことができる施設づくりを目指すことから、小学校へ複合化されるにあたって期待する点や考慮すべき点等について、ご意見をお聞きしました。



小川西町中宿地域センター(12/13)  
でのヒアリングの様子

### 【開催日等】

- ① 令和4年12月13日(火)  
14時30分から16時00分  
場所：小川西町中宿地域センター  
参加人数：15名
- ② 令和4年12月14日(水)  
14時30分から16時00分  
場所：小川西町地域センター  
参加人数：8名
- ③ 令和4年12月16日(金)  
18時30分から20時00分  
場所：小川西町地域センター  
参加人数：5名

## 利用者・利用団体ヒアリングで挙げた主な意見

いただいた意見は、  
今後の基本計画策定の参考とします。



### 設問①：現施設で利用しやすい点、残したい点

- ・集会室は現在の広さが必要。
- ・小川西町中宿地域センターの集会室は、天井が高く開放感があってよい。
- ・床はフローリングの方が、足が引っ掛からずダンス活動がしやすいし、高齢者にとっても危険にならない。
- ・和室は子どもがいる親にとってはよいが、高齢者は椅子がある部屋の方がよい。
- ・現在のようにロビーに机と椅子があれば、ちょっとした話し合いをすることができてよい。
- ・現施設はバリアフリーなので車椅子やベビーカーも入りやすい。
- ・利用方法、予約方法は現在のを継続してほしい。
- ・立地は現在のほうがよい（特に小川西町中宿地域センター利用者）。十三小になると遠くなり、高齢者では行きづらくなる。

### 設問②：小学校へ複合化されるにあたって期待する点

- ・複合化は、地域コミュニティの醸成のためのきっかけになると思う。
- ・地域の利用者が、子どもたちのために何ができるかを考えるようになると思う。
- ・児童、保護者、先生と地域の利用者の交流が増え、顔見知りになれば、見守り等の防犯面での効果や、日常生活への注意ができるようになる等の効果が期待できると思う。
- ・放課後子ども教室で、サークル利用者が先生となって児童に教えることができるようになると思う。
- ・小学生に限らず、卒業した中学生・高校生の利用もあれば、お互いにとって勉強になると思う。
- ・複合化により、青少対まつり等のイベントへの参加者が増えるのではないかな。
- ・児童と地域の利用者の交流ができるスペースがあるとよい。
- ・学校図書館の地域開放ができるようになれば、地域の利用者による読み聞かせ等により、多世代交流が深まると思う。
- ・不登校・引きこもりの子どもの居場所ができればよいと思う。
- ・民生委員の活動の支えになる場所になればよいと思う。

**設問③：小学校へ複合化されるにあたって考慮すべき点**

- ・子どもの安全性、セキュリティの確保が必要。
- ・セキュリティだけでなく地域交流とのバランスをうまくとってほしい。
- ・複合化により部屋の予約が取りづらくなる懸念があるので、そうならないようにしてほしい。
- ・学校行事の都合により活動が制限されることがないようにしてほしい。
- ・高齢者、障がい者、子ども等、誰にとっても使いやすい施設にしてほしい（ハード面、ソフト面共に）。
- ・子どもの声が活動に影響を与えないか心配だが、子どもは大きい声を出すのが当たり前なので、それを前提にうまくバランスをとってほしい。
- ・利用者団体同士の連携や運営がうまくいくような仕組みが必要だと思う。
- ・現在の施設から遠くなる利用者もいるので、交通手段についても考慮してほしい。
- ・複合化となるので、縦割り行政にならないように気を付けてほしい。

**設問④：子どもたちや地域のためにできること（地域自治の推進の観点）**

- ・自分たちが今まで学んできたことや経験してきたことを、地域や子どもたちに還元していきたい。
- ・地域の伝統行事を子どもたちに伝えていくことができると思う。
- ・新たにボランティアを立ち上げ、地域に根付いた活動を行ってはどうか。
- ・学校の調理室を使って朝食を提供する等の子ども食堂のような活動ができればよいと思う。
- ・子どもとのコミュニケーションが増えれば、それぞれの視点で物事を考えられるようになると思う。



小川西町地域センター(12/14)でのヒアリングの様子



小川西町地域センター(12/16)でのヒアリングの様子



**【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課**  
 〒187-8701 小平市小川町 2-1333  
 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513  
 メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

市では、将来の人口減少、少子高齢化や施設の老朽化など、公共施設を取り巻く環境の変化を見据え、公共施設の延べ床面積の適正化や魅力あるサービスの実現等に向けて、「小平市公共施設マネジメント基本方針」及び「小平市公共施設マネジメント推進計画」に基づき取組を進めています。  
参考として、ヒアリングの際に参加者にお示しした資料の一部を掲載します。



## ●小平第十三小学校の建て替え

十三小は、1968年に建築され、建物の老朽化が進んでいることなどから、建て替えることが決まり、新しい十三小に関する基本計画を令和5年度末までに策定する予定です。



- ①学校の建て替え
- ②施設の複合化
- ③地域自治の推進

例えば、高齢者の見守り、地域防災等も含めた視点

3つをポイントにおき、将来的に小学校を拠点とした更なる地域コミュニティが醸成されるよう、取組を進めています。

## ●小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成

地域学習、コミュニティ機能を学校と複合化することにより、**小学校を地域の核**とした地域コミュニティの醸成を図ります。

小学校を地域の核とした  
地域コミュニティの醸成



# 学校施設複合化事例

## 埼玉県志木市 志木市立志木小学校

### 地域コミュニティに支えられた学社融合施設

- ・資料が豊富な公共図書館を学校の教育活動でも利用
- ・ハードとソフトを組み合わせた柔軟な防犯対策
- ・施設の相互利用により、児童と地域の学習活動の幅を拡大

- 学校規模 / 22学級 677名  
(特別支援学級 2学級7名)
- 複合施設(床面積) / 小学校 (10,489㎡)  
公民館 (1,704㎡)  
図書館 (1,034㎡)
- 整備時期 / 平成15年
- 構造 / SRC造地下2階地上4階



普通教室棟と生涯学習棟をつなぐ2階テラスとブリッジ

### 施設整備に要した期間（構想・計画等から工事まで）

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
構想・計画等	→		平成9年5月 志木小学校・社会教育施設等複合化プロジェクトチーム設置(行内関係課所属長参加、全15回実施) 平成11年1月 志木小学校・公民館・図書館複合施設検討委員会設置(市民検討委員会、全体会2回、部会10回実施) 平成11年3月 基本構想決定			
設計			→		→	
工事			平成11年8月～平成12年3月基本設計 平成12年6月～平成13年1月実施設計		平成13年6月～平成15年3月建設工事	

### 施設整備の背景

- ・志木小学校と、近接する公民館・図書館の建物の老朽化・耐震化問題の解決策として、学社融合施設とする案が浮上。
- ・地域に開かれた学校として、児童と地域の人々が直接交流の機会をもつことで、学習の相乗効果が現れることを期待した。
- ・既存校舎のうち、北・西校舎は取り壊し、南校舎は耐震補強をし残すこととした。

### 管理・運営の体制

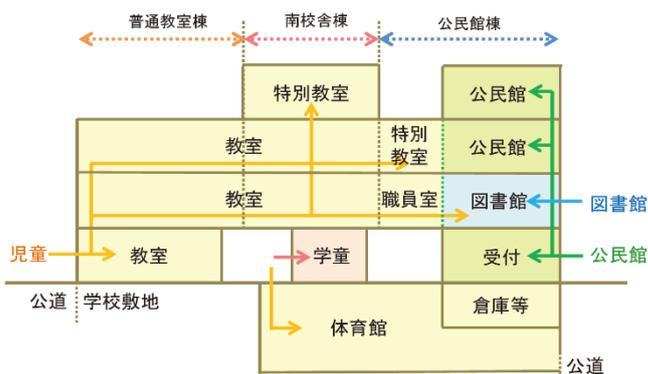
施設	利用時間(平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←→→→				教育委員会	教育委員会
公民館	←→→→				教育委員会	教育委員会
図書館	←→→→				教育委員会	教育委員会
学童保育クラブ		←→			市長部局	市長部局

※月曜日は公民館・図書館が共に休館日のため、小学校が事実上貸切のように使用することができる。

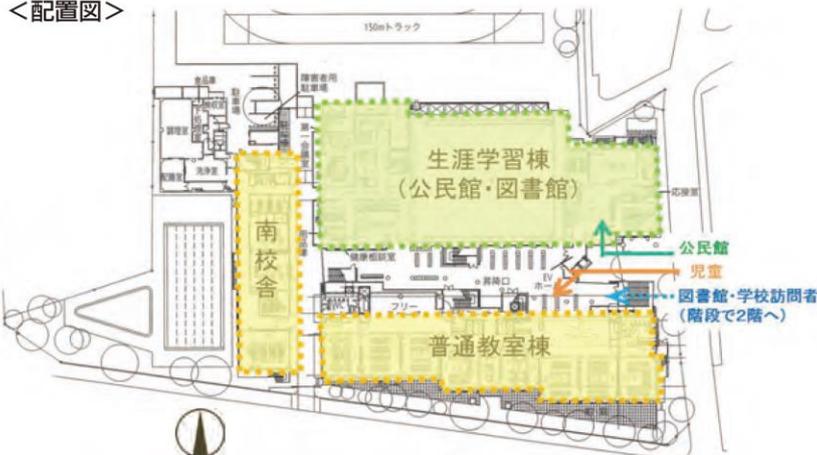
### 施設の配置・動線

- ・学校と図書館・公民館で棟や入口は違うものの、明確な区分はほとんどなく、図書館などは児童と地域が同じ時間に利用している。

#### <立面図>



#### <配置図>



出典：学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～（平成27年11月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）

## 平面計画上の特徴



## 相互活用・交流活動

学校と社会教育施設の学社融合施設として、設備も人も活用した独自のカリキュラムにより、学習内容や活動の幅を広げる

### <図書館の活用>

- ・ 小学校は、資料の豊富な公共図書館も活用可能（本の貸出しだけでなく、1日約3クラスが授業でも利用。）
- ※校内の各階には、各学年の学習状況に応じた本を揃えたチャレンジコーナーを設置

### <公民館や利用者の活用>

- ・ 音楽室やPCルーム、ホール等は共有で使用
- ・ 小学校のクラブ活動や課外活動を、公民館の利用団体が支援

- ▶ **公共施設の有効活用により、児童と地域の人々の学習機会も向上**
- ・ 日常的に公共施設を利用したり、地域の人々と交流したりすることで、自然と社会性が身に付く



児童による貸出し業務体験もできるなど、複合した公共図書館を利用する児童が多い



校内のチャレンジコーナーには専門職員が厳選した図書が並び

## 施設関係者のコメント

- ・ 創立140年の志木小学校は、昔から地域の人々に親しまれ、地域コミュニティに守られてきた小学校である。
- ・ 図書館や公民館の利用者もある程度は顔見知りである。
- ・ 児童が日常的に図書館や公民館を安心して利用できるのは、このような強い地域コミュニティが基盤にあるためである。

## 防犯対策

児童と公民館・図書館利用者との動線はあえて明確に分けず、大人が目で見守るという方針で運営

### <背景>

- ・ 地域で学校の児童を守ろうという意識が強い地域である（防犯対策については、あらかじめ地域と話し合い、理解を得ている）
- ・ 教職員だけでなく複数の施設の職員と一緒に児童を見ている
- ・ ガラス張りの壁等、見通しのよい施設であり、目が届きやすい

### <その他防犯対策>

学校の安全主任は図書館と公民館の担当者と適宜打合せを実施、施設の管理運営委員会において危機管理マニュアルを作成、常駐警備員の配置、3施設合同の避難訓練・防犯訓練（年に3回）、防犯監視カメラの設置（20台）、利用者は入館証を着用全職員・教職員がPHSを携帯

- ▶ **ハードとソフトを組み合わせた柔軟な防犯対策をとることで、児童の活動範囲を広げることができている**



見通しのよいガラス張りの校舎



小学校のテラスと図書館の入口が近接する2階には警備員が常駐



公民館の入口にある受付で利用者を確認



地下の体育館の様子も、公民館から見る事ができる

# 埼玉県吉川市 みなみ 吉川市立美南小学校

## 新しい住宅地に求められる学校施設を含めた公共施設の整備

- ・地域のニーズに応じた複数の公共施設と一体的に整備
- ・地域利用の施設を1階に集約し、施設管理の負担を軽減

- 学校規模 / 17学級 527名  
(特別支援学級 / 2学級 5名)
- 複合施設(床面積) / 小学校 (8,134㎡)  
公民館 (299㎡)  
高齢者ふれあい広場 (182㎡)  
子育て支援センター (105㎡)  
学童保育室 (358㎡)
- 整備時期 / 平成24年
- 構造 / RC造地上3階建て



学校の特別教室と公民館の間に設けられた学校と地域が共有する中庭

### 施設整備に要した期間（構想・計画等から工事まで）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
構想・計画等						
設計		平成20年2月学校用地の面積及び取得時期決定 平成21年12月建設方針決定		平成22年5月～平成23年3月設計	平成23年3月学校用地取得 平成23年9月～平成25年1月建設工事	
工事						

### 施設整備の背景

美南小学校が立地する美南地区は新興住宅地であり、人口が急増している学校をはじめ既存の公共施設がないため、より広範囲の地域のニーズを踏まえ、学校とその他の公共施設との複合施設として整備した。

### 管理・運営の体制

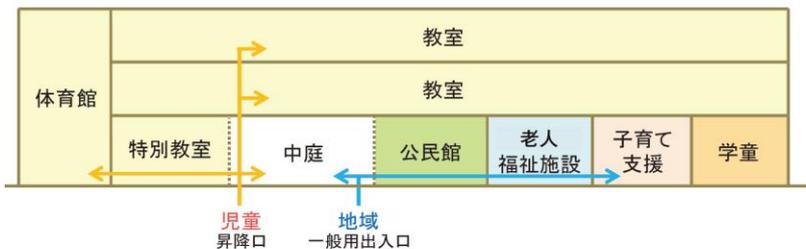
施設	利用時間（平日）				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←	→			教育委員会	教育委員会
公民館	←	→			教育委員会	教育委員会
老人福祉施設	←	→			市長部局	社会福祉協議会
子育て支援センター	←	→			市長部局	NPO法人
学童保育			←	→	市長部局	市長部局

### 施設の配置・動線

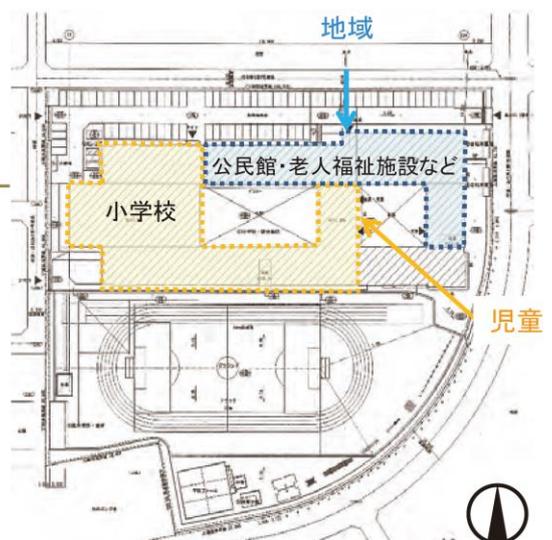
地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は1階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は2階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

#### <立面図>



#### <配置図>



- 凡例
- 黄色い長方形 → 小学校
  - オレンジ長方形 → 学童
  - 緑色長方形 → 公民館
  - 青い長方形 → 地域
  - 水色長方形 → 老人福祉施設
  - 桃色長方形 → 子育て支援センター

## 平面計画上の特徴



## 公共施設の整備

- ・新興住宅地における学校施設の整備を、その他の公共施設の整備と併せて実施
- ・地域のニーズを踏まえ、小学校を中心に、乳幼児から高齢者まで、様々な年代が利用する施設を複合化
- ・小学校の特別教室や体育館を地域開放することを前提として整備



子育て世代・共働き世代が増加する地域の実情に応じた施設を整備  
(左：子育て支援センター、右：学童保育室)



デイサービスでは小学校の給食を提供 学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

- ➡ 新興住宅地における学校施設の整備を、その他の公共施設と併せて行い、多世代が集う地域の交流施設とした
- ・各公共施設を単体で整備するよりも、財政的な負担が軽減した

## 委員の意見より

- ・新興住宅地にある学校であり、今後も児童数増加が見込まれる。このため、小学校を拠点として多世代の住民が利用できる複合施設として整備することは地域コミュニティの形成を図る観点からも意義がある。

## 複合施設としての留意点

- <事故防止>
  - ・公民館等への来館手段に、車や自転車を利用する人もいることから、児童と車等が接触しないように動線を配慮した。
  - ・校内で走っている児童と高齢者等が衝突しないように、注意が必要な場所には一時停止の表示等をしている。
- <防犯対策>
  - ・児童と地域の利用者の出入口は別とし、児童が使用する校門は登下校時以外は閉鎖。地域の利用者の出入口では担当職員が受付を行っている。
  - ・学校教育の活動時間外に地域の利用者等が小学校の普通教室等へ入らないように、階段室の扉を閉鎖している。
- <自然な交流>
  - ・学校や各公共施設の活動の様子が目に入るような施設となっており、公民館と小学校の中庭では、児童と地域の利用者との交流も見られる。



衝突しやすい地点に設置された一時停止の表示



地域利用者の入口には受付を設けている

## 複合化の実績を活用

- ・美南小学校が整備される10年ほど前に、同市内の既存市街地にある吉川小学校が、公民館・老人福祉施設・学童保育を併設した複合施設として整備・運営してきた実績があった。
- ・美南小学校は、この経験を活かして計画・運営している。

# 新潟県聖籠町 聖籠町立聖籠中学校

## ボランティア団体が地域交流棟を運営し交流活動を展開

- ・ボランティア団体の活動スペースと学校開放を行うスペースからなる地域交流棟を、ボランティア団体が運営
- ・敷地周囲に困障のない開かれたづくり

- 学校規模 / 12学級 406名  
(特別支援学級 / 3学級 16名)
- 複合施設(床面積) / 中学校 (12,060㎡)  
地域交流棟 (2,893㎡)
- 整備時期 / 平成13年
- 構造 / RC造(2階木造) 地上2階

### 施設整備に要した期間(構想・計画等から工事まで)

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
構想・計画等	[平成8年度～平成11年度]				
設計	[平成9年10月～平成10年10月設計]		[平成8年度～平成10年度聖籠町統合中学校建設推進委員会 平成9年度～平成11年度聖籠町統合中学校建設委員会]		
工事	[平成10年6月～平成11年3月用地造成工事 平成11年3月～平成12年12月建設工事 平成12年6月～平成13年3月外構工事]		[平成10年度～平成12年度]		



ボランティア団体が運営する地域交流棟(写真左側)

### 施設整備の背景

- ・町内に2校あった中学校の統合に当たり、統合中学校建設推進委員会に町民が積極的に参加した結果、「生涯学習施設としての機能を持ち、地域に開かれた学校」を目指すこととなり、地域交流棟の整備につながった。
- ・文教施設のインテリジェント化に関するパイロットモデル研究事業対象校。

### 管理・運営の体制

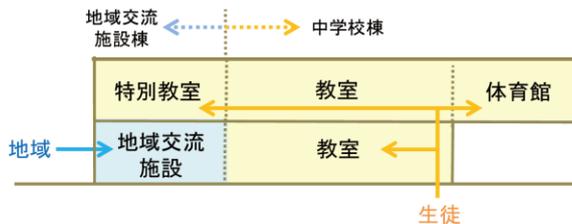
施設	利用時間(平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
中学校	[8:00-17:00]				教育委員会	中学校
地域交流棟	[8:00-17:00]				教育委員会	ボランティア団体
	[17:00-22:00]				教育委員会	町長部局

平日の日中は、ボランティア団体に地域交流棟の管理を委託。

### 施設の配置・動線

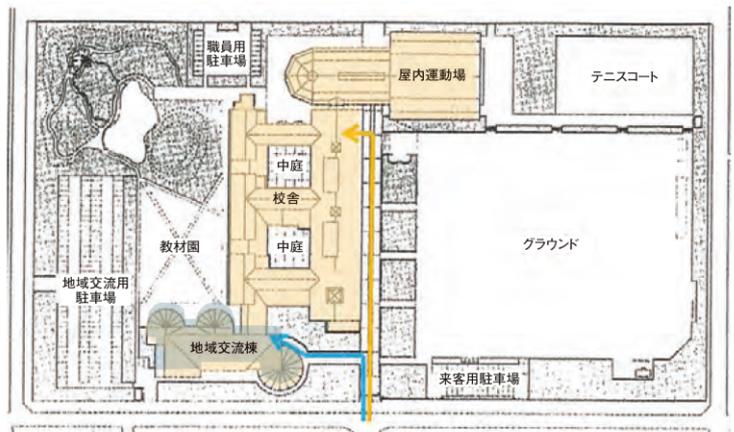
- ・地域に開かれた学校を実現するため、学校敷地の周囲に困障は設けておらず、誰でも気軽に訪れることのできる開かれたづくりとなっている。
- ・地域交流棟専用の入口を設置している。

#### <立面図>



- 凡例
- 中学校
  - 地域
  - 社会教育施設

#### <配置図>

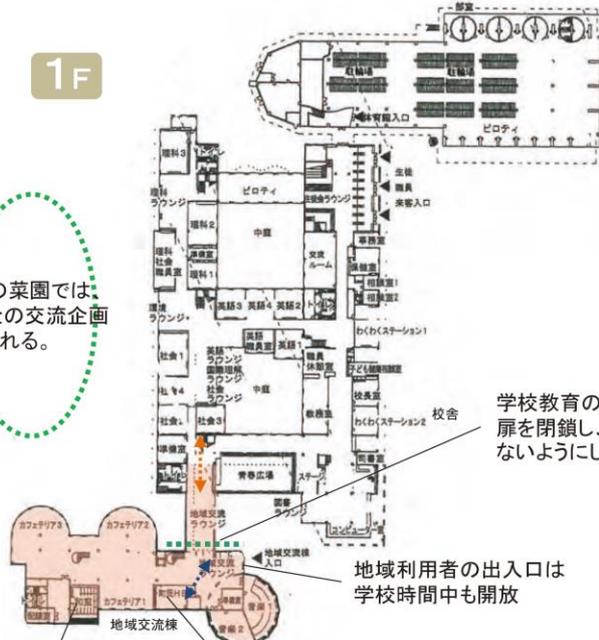


## 平面計画上的特徴

- ・学校施設は、教室棟・地域交流棟・屋内運動場の3つの棟に分かれている。
- ・教室棟と地域交流棟の間は、時間に応じて扉で仕切ることができる。

1F

校内の菜園では、地域との交流企画も催される。



学校教育の活動時間外は扉を閉鎖し、教室棟へ入れないようにしている。

地域利用者の出入口は学校時間中も開放

地域との交流にも使われるフェテラス。和室も設置。

ボランティア団体が常駐。来館者の受付をしている。

2F



## ボランティア団体による地域交流棟の運営

- ・地域交流棟には、音楽室、美術室、技術室、家庭科室、ランチルームが入っており、それぞれ学校開放を行っている。
- ・学校開放を含む地域交流棟の運営は、常駐するボランティア団体が担っている。  
(運営費用は教育委員会が支出。)
- ・ランチルーム横の和室において、地域住民は給食を試食できる。



開放的なランチルーム



給食の試食にも使えるランチルーム横の和室

## ボランティア団体と中学校の交流

- ・ボランティア団体の企画により、野菜作り、梅干作りなどの様々な体験活動を行っている。
- ・ボランティア団体が、国語や家庭科の授業を支援している。
- ・ボランティア団体が常駐する「町民ホームベース」はガラス張りとなっており、中学生と地域住民がお互いに存在を感じ合うことができる。



ボランティア団体と一緒に野菜作りをする中学生



ガラス張りの町民ホームベース

## 防犯面の取組

- ・学校敷地の周囲に囲障は設けておらず、誰でも気軽に訪れることのできる開かれたつくりとなっている。
- ・地域交流棟の入口を設けており、常駐するボランティア団体が入館者をチェックしている。
- ・17時以降には、校舎棟と地域交流棟の間のシャッターを下ろすことにより、地域交流棟から校舎棟へ利用者が入らないようにしている。



約6haの広大な敷地は、囲障のない開かれたつくりとなっている

## ボランティア団体の成り立ち

- ・統合中学校の整備を機に、住民が中心となり、「聖籠町統合中学校を育てる会」が発足。
- ・「森づくり」「イベント」「地域交流ゾーン活用」をテーマに掲げ、ボランティア団体「せいろく共育ひろばみらいのたね」を発足。
- ・PTAや町内会でもないボランティア組織として、子供たちへのより良い教育環境の提供を目指して自主的に活動を行っている。



町民ホームベースの内部

## 委員の意見より

- ・有識者のみならず多くの住民の参加を得て、中学校づくりについて丁寧な検討が行われてきた。地域住民を巻き込んだ検討のプロセスが後に地域の学校に対するサポートにもつながっている点は重要である。
- ・一方で、ボランティア団体の存続の是非を問う意見も出たとの話もあった。団体独自の活動は会員の会費に頼っていることもあり、地域住民の自主的な活動の持続可能性の確保が課題と言えるかもしれない。

# 公共施設マネジメント って何だろう？

**「公共施設」とは？**

こうきょうしせつ  
**公共施設**という言葉を知っていますか？



公共施設とは、税金で建てられて運営されている建物のことをいいます。みなさんの身近にもあるものです。



公共施設には色々な役割と特徴があります。

## 公共施設について

●「公共施設」って何がある？

小学校 保育園 高齢者館 ルネこだいら  
 中学校 学童クラブ 給食センター  
 図書館 平櫛田中彫刻美術館 公民館  
 市役所 消防団詰所 児童館 体育館  
 テニスコート たいよう・あおぞら福祉センター  
 屋外プール リサイクルセンター  
 公園 グラウンド 自転車駐車場  
 地域センター

## 「公共施設マネジメント」とは？

人口が減り(人口減少)、子どもが減り高齢者が増え(少子高齢化)、古くなっていく公共施設(公共施設の老朽化)などに対応し、公共施設を良好な状態で、将来世代に引き継ぐための取組みをいいます。

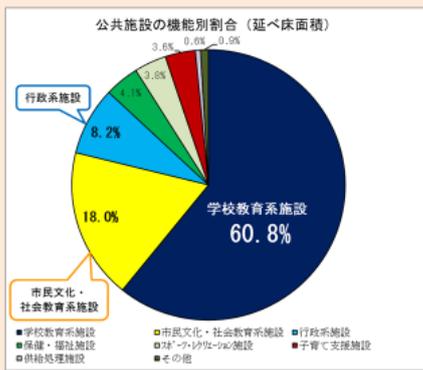
具体的に  
見ていきます。



小平市の公共施設の割合で一番多いのが学校です。その次に、公民館・図書館などの「市民文化・社会教育系施設」、そして市役所などの「行政系施設」と続きます。

●「公共施設」の保有量

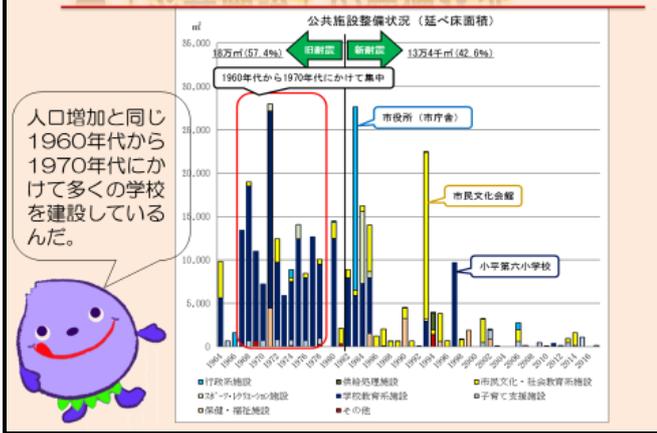
公共施設の機能別割合(延べ床面積)



学校教育系施設が約6割を占めているんだ。



## ●「公共施設」の整備状況



多くの公共施設が、人口の増加にあわせて1960年代から1970年代にかけて建設されました。

「小平市公共施設白書(令和元年度改定)」では、これからの公共施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、3つの課題について記載しています。



## ●将来に向けた大きな3つの課題

公共施設を取り巻く環境が変わろうとしています。

- ①施設の老朽化・更新時期の集中
- ②人口減少・少子高齢化
- ③財政バランスの悪化



## ●3つの課題 ①施設の老朽化



約80%以上の建物が、建築から30年以上経過し、老朽化が進んでいることがわかります。

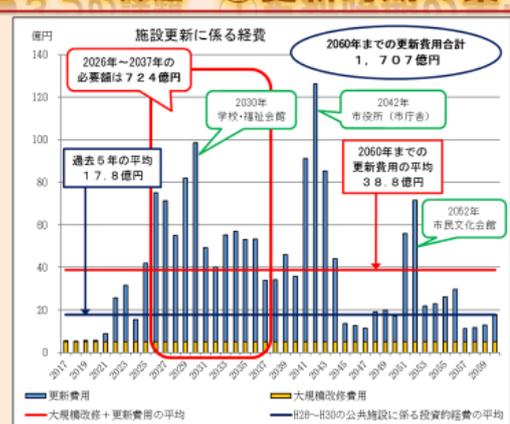
(老朽化率50%とは、建築から30年が経過している施設です。建物の寿命は60年を目安としています。)

1960年代から1970年代に建てた建物が、一斉に建替え時期を迎えます。

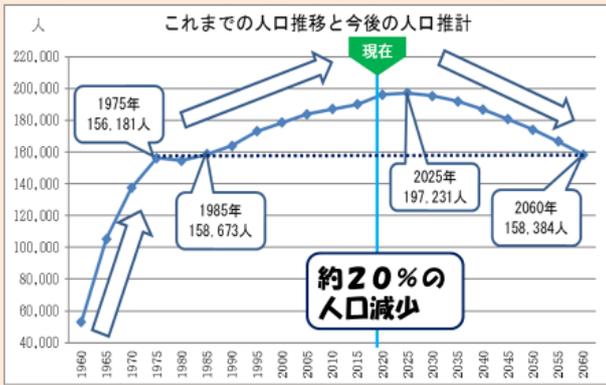
また、全ての公共施設を建替える場合、現在の2倍以上の予算が必要となると試算しています。

## 【施設の老朽化・更新時期の集中】

## ●3つの課題 ①更新時期の集中



● 3つの課題 ②人口減少

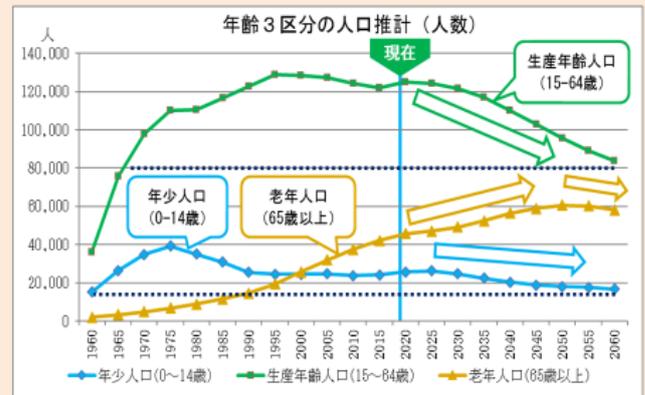


小平市の人口は、2025年の19万7千人をピークに減少すると推計しています。ピーク時から2060年までで、約20%の人口減少が予想されます。

また、子どもや大人が減り、高齢者が増える少子高齢化が進むと考えられています。

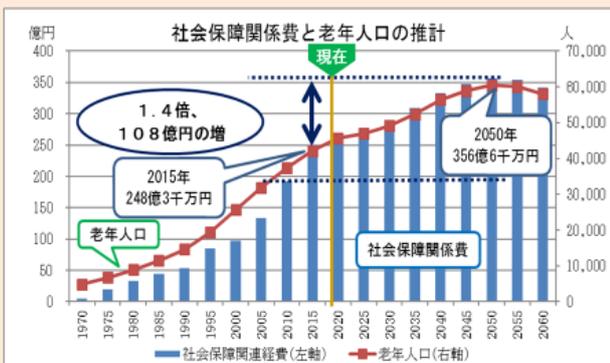
【人口減少・少子高齢化】

● 3つの課題 ②少子高齢化



将来的に、高齢者が増えることで介護などの社会保障関係費が増えます。

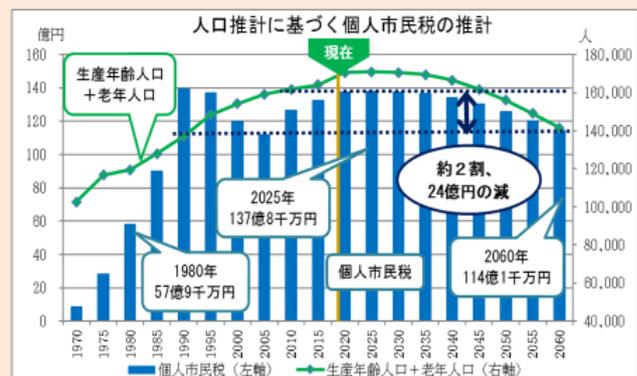
● 3つの課題 ③財政バランスの悪化



一方で、働き盛りの大人(15~64歳)の人口が減ることで税収が減り、市の税収と支出のバランスが悪化することが想定されています。

【財政バランスの悪化】

● 3つの課題 ③財政バランスの悪化



●何もしないでいると…

何もしない⇒朽ちて危険



無理に借金⇒財政破綻



増 税 ⇒ 反対

出口の  
見えない  
ジレンマ

市では、3つの課題に対応するため、平成27年に「小平市公共施設マネジメント基本方針」を策定し、これからの公共施設の大きなあり方を示しました。

## 大きな方向性

(H27.12 小平市公共施設  
マネジメント基本方針)

●公共施設マネジメント基本方針 基本理念

市民会議の  
アイデア

いつまでも  
わくわくする場を  
みんなで創ろう



「いつまでも」

現世代のみならず、子や孫といった将来世代まで持続可能

「わくわくする場」

だれもが期待や希望を抱くことができるような、時代の変化に対応した場

「みんなで創ろう」

行政だけではなく、市民や民間事業者と協力して、ともに推進

ポイント!

「小平市公共施設マネジメント基本方針」では、公共施設マネジメントを推進するための4つの方針を掲げました。

●4つの方針

- ① 魅力あるサービスの実現  
(サービスの最適化)
- ② 持続可能な施設総量  
(量の最適化)
- ③ コストの縮減と平準化  
(コストの最適化)
- ④ 長く活用できる施設  
(性能の最適化)



## ● 4つの方針 ①

① 魅力あるサービスの実現  
(サービスの最適化)

時代やニーズの変化を的確にとらえ、新たな価値を創造し、満足度の高い魅力あるサービスの実現を目指します。

財政や行政に求められるものに見合った施設の量や配置にします。

時代に求められる価値を考えながら、魅力あるサービスの実現を目指します。

## ● 4つの方針 ②

② 持続可能な施設総量  
(量の最適化)

公共施設の延べ床面積を縮減するなどの効果的な対応により、行政需要や財政規模に見合った将来世代まで持続可能な施設総量や配置の適正化を図ります。

将来世代に大きな財政負担とならないように、公共施設について適正なコスト管理をします。

## ● 4つの方針 ③

③ コストの縮減と平準化  
(コストの最適化)

将来世代の大きな財政負担としないように、公共施設の整備や維持管理等の全てのコストの縮減、平準化を図ります。

施設を長く使えるように、きちんと修繕など行い大切に使います。

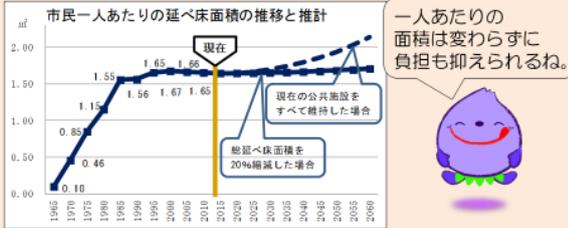
## ● 4つの方針 ④

④ 長く活用できる施設  
(性能の最適化)

可変的な施設づくりや適切な保全を実施し、安全・安心な施設を維持することにより、保有する施設を長期的に活用するとともに、防災、環境、福祉などの対応を図ります。

### ●持続可能な施設総量の目安等

- ①延べ床面積の縮減  
(47年間で20%以上の縮減)
- ②大規模改修等の見直し
- ③管理運営コストの見直し



「小平市公共施設マネジメント推進計画」により、目標耐用年数を迎える個別施設の検討をしていきます。

### ●配置の考え方

- ◆**広域対応施設** それぞれの施設において、近隣自治体との相互利用などの広域連携、他機能との複合化、民間施設の活用等を進める
- ◆**地域対応施設** 地域コミュニティの拠点となる施設（仮称）地区交流センターを小学校に複合化（併設）し、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図るとともに、延べ床面積の6割を占めている小・中学校の統合も行う

個別施設を更新する場合、基本計画を策定します。

小平市では、基本計画の策定段階からワークショップや意見交換会等を実施し、市民の皆さんと一緒に進めています。

### 新しい取り組み（小平第十三小学校）



持続可能な公共サービスを提供するため、人口の減少に合わせた延べ床面積の縮減を行います。

市制施行 100 周年に向けて、47 年間で 20%以上の縮減

ポイント！

## 個別施設の検討

(H29. 3)

R4. 3改定

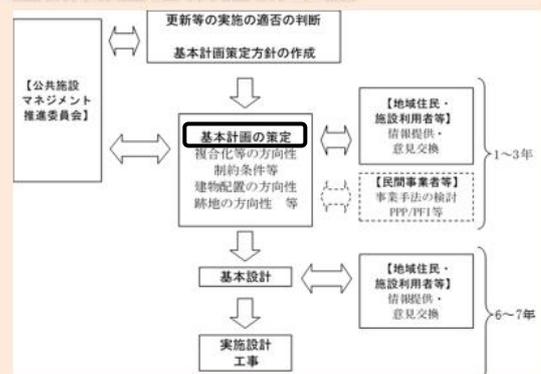
小平市公共施設

マネジメント推進計画)

公民館や地域センターなどの地域対応施設は拠点化を図り、小学校へ複合化していきます。

→小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ります。

### ●個別施設の検討手順



1968年に建築された十三小は、建て替えが決まりました。学校建て替えの際には、地域学習、コミュニティ機能を複合化することにより、“小学校を地域の核”とした地域コミュニティの醸成を図っていきます。

# 小平市 学校更新ニュース

令和5年8月 No. 13小-3

更新に関するスケジュールや概要は市のホームページをご覧ください。



13小マスコット トミー

## (仮称) 小平第十三小学校等複合施設の整備に関するオープンハウスを開催しました。

小平第十三小学校は、教育活動の充実や教育環境の向上を図るとともに、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ることを目的として(仮称)十三小地区交流センター※、学童クラブとの複合施設として更新します。

※(仮称)地区交流センターは、地域学習・コミュニティ機能を持つ施設です。

オープンハウスでは、延べ84名のご来場をいただき、更新に関するコンセプトや整備方針などの案についてのご意見をいただきました。

今後は、いただいたご意見やアンケート結果を参考に、基本計画の骨子案を策定します。



パネルの説明の様子

### 【開催日等】

令和5年7月28日(金)、30日(日)

時間: 午前10時~午後5時

場所: 小川西町地域センター  
第1・第2集会室

来場人数: 56名(28日)、28名(30日)

7月28日は、10時、10時半、11時、15時に、  
7月30日は、10時半、11時半、14時、15時、  
16時にパネルの説明を行いました。

### ◆オープンハウスでは、以下の内容のパネルを展示し、説明を行いました。

1. 公共マネジメントって何だろう? 複合化を進める背景等について、説明しました。
2. (仮称) 小平第十三小学校等複合施設整備事業 概要(KIDS版含む)  
整備コンセプトや整備方針、複合化のイメージ、今後の予定について、紹介しました。
3. 現在の十三小を見てみよう 現在の十三小の校舎等を写真で紹介しました。
4. 建て替えに関する児童・教職員アンケート結果  
現在の十三小の良い点や改善が必要と思うこと、新施設に期待する空間や設備について、十三小の先生方に行ったアンケートの結果を紹介しました。また、現在の5年生・6年生を対象に十三小の良いところ、今後残したいもの、新しい学校でやってみたいことなどについてのアンケート結果を紹介しました。
5. 公共施設の利用者・利用団体ヒアリング結果  
令和4年度に小平第十三小学校通学区域内の地域コミュニティ施設において活動している利用者の方々を対象に開催したヒアリング結果を紹介しました。
6. 学校施設の複合化事例 複合化のイメージがしやすいよう、他市の事例を紹介しました。

## 事業概要



### ●コンセプト

子どもたちが快適に学び、また多世代がつながり高め合う、地域の拠点となる学校づくりをめざして

#### ★整備方針（小学校）

- ① 多様な学習活動に柔軟に対応できる学習環境の整備 ② 安全・安心で快適な学校空間の整備  
③ 地域を愛し、地域に愛される開かれた学校づくり

#### ★整備方針（（仮称）地区交流センター）

- ① 新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点 ② 様々な人々が活動しやすい施設づくり  
③ 人々の「地域のために」という想いを大切に、地域貢献や地域還元に役立つ施設づくり

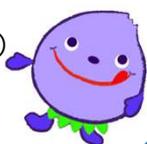
#### ★整備方針（学童クラブ） 子どもが安心して過ごし、様々な交流が図られる施設づくり

## アンケート結果

※アンケートには、合計35名の方からご回答いただきました。  
アンケート結果は、当日会場でいただいたご回答と、二次元コードや市のホームページからWEB上でいただいたご回答を集計したものです。

### オープンハウスのパネル展示について

- ・よく理解できた（62%）
- ・あまり理解できなかった（18%）
- ・無回答（20%）



### 新しい小学校に関するコンセプトと整備方針について

- ・よい（33%）・おおむねよい（37%）
- ・変更・追加したほうがよい（7%）
- ・無回答（23%）

### 新しい学校の計画における優先度

- ・安全性について、89%の方が優先度が高いとご回答いただきました。
- ・新しい学習環境への適応性、快適性について、60%以上の方が優先度が高いとご回答いただきました。
- ・近隣住環境への影響、環境負荷の低減、可変性（将来の用途変更や増築への対応）、公共施設マネジメントの視点（将来の人口推計に合わせた建物面積の適正化など）について、優先度が中くらい以上と回答した方が70%以上でした。

### 今の十三小のイメージは

- ・あかるい、たのしいなどの良いイメージ（63%）
- ・くらい、せまいなどの良くないイメージ（0%）
- ・とくにない・無回答（37%）

### 子どもたちや、地域の人と、どんな交流をしてみたい？

- ・児童の登下校を見守る、あいさつ（40%）
- ・一緒に地域のお祭りの準備（20%）
- ・まちの先生となって子どもたちに教える（17%）
- ・給食を一緒に食べて交流する（17%）
- ・一緒に運動会を行う（17%）

※複数回答可のため、合計が100%になりません。

### 「地域コミュニティ施設」で、どんな活動やどんな使い方をしてみたい？

- ・多世代交流サロン（23%）
- ・お祭り（23%）
- ・語学、学習（14%）
- ・卓球（14%）
- ・料理（14%）
- ・育児、親子交流（14%）
- ・パソコン、IT系の学習（11%）



※複数回答可のため、合計が100%になりません。

【お問合せ】〒187-8701 小平市小川町2-1333 小平市役所

教育部 教育総務課 施設更新担当 TEL:042-312-1379 FAX:042-346-9578 メール:new-school@city.kodaira.lg.jp

企画政策部 公共施設マネジメント課 TEL:042-346-9557 FAX:042-346-9513 メール:facility-mg@city.kodaira.lg.jp